

区議会レポート

71号

葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：区議会第一回定例会他

裏面：一般質問報告など

2021年3月17日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

fax 03-3697-0137



新型コロナウイルス対策緊急要望第三弾提出



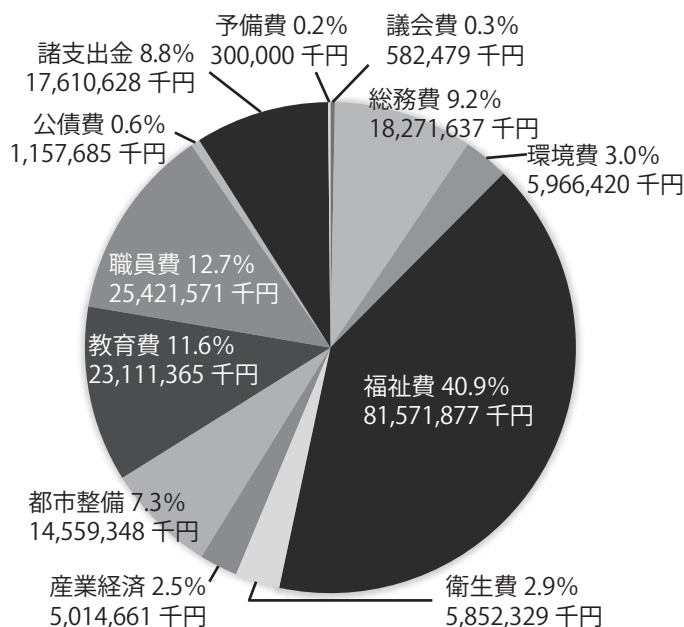
要望提出での意見交換

◆昨年末からの感染者数の急拡大により、年明けに緊急事態宣言が再度発出されたことに合わせ、去る1月15日にかつしか区民連合として「新型コロナウイルス感染症COVID-19対策追加要望第三弾」を青木かつのり葛飾区長宛に提出しました。◆在宅療養者支援、パルスオキシメーター導入、ワクチンへの準備、飲食以外の商店・事業者支援、非接触のためのキャッシュレス決済導入、テレワーク支援、新生児特別給付金の延長、子ども食堂などへの支援、要配慮者・生活困窮者支援など対策を求めました。

令和三年葛飾区議会第一回定例会開会

令和3年度一般会計予算案 1,994億2千万円

◆令和3年葛飾区議会第一回定例会が2月16日に開会しました。◆今定例会では昨年度比2.7%減となる葛飾区当初予算案（一般会計1,994億2千万円）が上程されました。◆今回の予算案では新型コロナウイルス感染症の影響による景気減退などにより税収が減少する一方、感染症対策などへの歳出が増加しています。◆今回の予算編成では、事務事業の見直しや業財政改革による歳出抑制とともに、令和2年度に新型コロナの影響で中止となり未執行の経費などを財政調整基金に積み、それを新年度に改めて取り崩すなど、税収減を補う対応がなされています。◆令和3年度予算案については3月3日から予算審査特別委員会が設けられ、四つの分科会に分かれ審査されました。◆各分科会での意見については改めてご報告いたします。



■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石 8-4 7-1 8

携帯電話 090-2932-7315

e-mail: info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動はFacebookをご覧ください。

◆かわごえ誠一プロフィール◆

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒業
●立石在住32年 ●防災士 ●保育園/学童保育クラブ父母会、小・中学校PTA連合会、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、保田しおさい学校、三番瀬保全活動などに携わる。●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団員 ●葛飾区ボッチャ協会会長 ●元都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●区議会所属：文教委員会・副委員長／地域活性化・区民サービス向上対策特別委員会／広報委員会

新型コロナウイルスワクチンコールセンター開設

◆葛飾区新型コロナウイルスワクチンコールセンターが3月15日（月）に開設されました。

新型コロナウイルスワクチンに関する問い合わせに対応します。詳しくは区HP⇒ [🔍 葛飾区新型コロナワクチン](#)

☎03 (6625) 7453 (毎日・午前9時～午後6時)※18カ国語に対応

FAX: 03 (4531) 8196 (視覚障害のある方など)

区では4月中旬から75才以上の高齢者へ接種券発送を予定していますが、国のワクチンの準備状況により接種開始時期は未定です。

令和2年度第9次・第10次補正予算

◆第一回定例会において2月16日に令和2年度第9次補正予算が、また、2月26日に第10次補正予算が上程され、2月26日の中間本会議で議決されました。

■第9次補正予算110億3386万5千円■

◆第9次補正予算では、今年度中に事業が中止や縮小されるなどで執行されなかった予算の減額補正と、その減額分から100億円が財政調整基金に積み増しされました。

その他、新型コロナ感染症対策経費や新生児特別定額給付金の延長（3月末まで）、再開発事業費助成、指定管理者への感染症による損失補填などが計上されました。

■第10次補正予算1億1170万3千円■

◆第10次補正予算では新型コロナウイルスワクチン接種対策としてワクチン接種体制確保事業費が計上され、ワクチン接種準備への取り組みが始まりました。

令和三年区議会第一回定例会一般質問報告

◆去る2月26日（金）に開かれた区議会本会議において、かわごえ誠一が一般質問に登壇し「（1）新型コロナウイルスについて」「（2）文化振興について」「（3）共生社会実現について」の3項目についての質問をしました。今号では新型コロナ関連の質問項目を掲載いたします。

新型コロナウイルス感染症 COVID-19 について

1：事業を停滞させない保健所の体制整備を！

◆保健所・健康部の事業を停滞させないための体制整備について伺うとともに、将来の危機管理を見据えて発達障害やアディクション、三障害など分野がまたがる課題についての相談体制や、当事者団体等の支援のあり方などについて検討すべきと考えるがいかがか。

2：新型コロナの後遺症への対応と自殺予防を！

◆新型コロナの後遺症の情報の収集や共有を図り、区民に周知するとともに、感染後の相談など支援体制や、また背景にある困りごとなどを受け止め、的確に支援につなげるための職員の資質向上など、庁内での連携について伺う。また、感染症に関わる精神的負担などによる自殺を予防するための体制について伺う。

3：清掃職員などエッセンシャルワーカーへの処遇は？

◆感染症下で清掃職員の業務の状況と安全管理についてとともに、緊急事態宣言下での清掃職員などエッセンシャルワーカーとしての区職員への危険手当やPCR検査・抗体検査など処遇について見解を伺う。

4：新型コロナによる人権侵害への対応を！

◆本区において、新型コロナを含む人権侵害の現状と取り組みを伺うとともに、ネット上の人権侵害を防ぐ取組

み等においてAIなど最新技術についての見解を伺う。

5：テレワークの支援を！

◆感染症下でのテレワーク支援として、緊急時に臨機応変に対応するために協働の観点を入れながら、既存の公共施設の会議室や空き店舗などコ・ワーキングスペースとして活用できないか伺う。

6：中学校の修学旅行実施、部活動の再開は？

◆今年度、中止となった修学旅行の代替として中学校での取り組みを伺うとともに、来年度、仮に感染症が収束していないような場合の修学旅行の実施について見解を伺う。また、緊急事態宣言下で部活動が中止となっているが、再開について教育委員会の見解を伺う。

7：学校の感染症対策の共有と新学習指導要領の研究を！

◆授業をする上で感染症対策のため、様々な配慮や、工夫が必要な教科があると思うが、その事例を学校だけでなく、区全体で共有していくべきと思うがどうか。また、小学校では今年度（令和2年度）から、中学校では来年度（令和3年度）から、全面実施される新学習指導要領について、円滑な実施に向けては教員の研究活動が重要だと思うが、今年度は研究指定校の取り組みも中止となり、危惧している。感染症下での各学校の研究の現状及び、今後の研究のあり方について伺う。



一般質問に登壇するかわごえ誠一